偏ったコメントでいつも SNS を賑わせている『サンデーモーニング』が、「おい、どうした？」という驚くべき場面連発だった 1/14 の監視レポートです。

番組最初の話題は北朝鮮問題。
にわかに朝鮮半島の雰囲気に変化が現れていると VTR フリ。

・南北閣僚級会談、北朝鮮は融和ムードを演出
・北朝鮮が平昌オリンピックに選手団を参加させると正式に表明
・しかし、核問題の協議には一切応じず
・菅官房長官、「圧力を最大限にいく方針に変わりない」
・しかし、トランプ大統領は「良い南北対話が行われている」と期待発言
・韓国側によると、トランプ大統領「南北対話中は軍事行動しない。平昌五輪に副大統領派遣」と明言したと発表。
・11 日付ウォールストリート・ジャーナルのトランプ大統領インタビュー「正恩氏とは恐らく非常にいい関係にある」
・なぜ、トランプ大統領の態度が変わったのか？
・10 日、文在寅大統領「会談の実現はトランプ大統領の貢献は大きい」と発言
・実は会談前にトランプ大統領「会談実現は私が強い姿勢だったから」と自画自賛とも取れるツイート
・米メディア「韓国がトランプ大統領に花を持たせて、発言のトーンを変えた可能性がある」と報道
・プーチン大統領は北朝鮮について「情勢を鎮静化させる狙いがある」と分析
・朝鮮中央テレビ「敵が 100 年制裁しようとも乗り越えられない難関はない」
・北朝鮮の韓国向けサイト「米韓合同軍事演習は、延期ではなく完全に中止すべき」
・硬軟織り交ぜた北朝鮮の姿勢。その真意はどこにあるのか？

という VTR に続いてゲストのコメント。

ーーーー
田中秀征：みんなの発言がだまし合いみたいな感じですよね。ですから、これは北が非常に必要性を感じている局面なんだと。政治的にも軍事的にも経済的にもある種の行き詰まりというか、そういうところにきてるんじゃないかと僕なんかは見るんで。だからオリンピックに参加するといっても歓迎するという気にはならない。韓国には、大歓迎とかあんまり大統領にはしゃいでもらいたくないですね。この問題でね。だからきちっと見極める必要があるから、冷静に対応するというところじゃないでしょうかね。

－－－－

サンモニには珍しくのっけから北朝鮮に厳しいコメント。
韓国にも「喜ぶな」とキツイ釘刺し。

－－－－
幸田真音 : オリンピックは平和の祭典ですから、政治とは無縁のところにあるというものだから、一時期、一触即発みたいなことがあったから、それが若干弱まったのであればいいことなのかと思うんですけど。でもただ北はむしろ政治利用しているのが見え見えですし、この会談見てても役者が上だなとすごく思ったんですよね。北朝鮮が融和ムードのときって、必ず今までも軽水炉を送ってもらったときとかいろんな経済支援の問題でも何か裏で着々と核開発をしていたという油断ならないというのと。私、気になるのは中国なんですね。米韓が一緒になって、核施設がアメリカのコントロールになるのが一番強くて嫌だと思うんで。ところが最近中国って、アメリカの国債を減らせってちらっと言ってみたりしていますけれども、中国がどういうふうに考えているかとても気になりますね。
－－－－

北朝鮮が五輪を政治利用していると指摘。
北朝鮮がいい顔している時が油断ならない、と事実を言っちゃいました！
しかも、中国を警戒。

ここまでは、北朝鮮・中国を警戒したコメントでした。

ここからは、やや中立なコメント。

－－－－
藪中三十二 : まさに本質は全然変わっていないはずなのが、えらい局面が変わったのかなという感じになってますね。今回は文在寅大統領が、実は非常に難しい立場に置かれる。アメリカと韓国、くさびを打とうとしている、そんな話がありましたですよね。実は文在寅さんは非常にうまくやったのは、トランプさんのエゴを救ったんですね。花を持たせたって、さっきありましたよね。あなたのおかげでああやって北朝鮮がようやく話に乗ってきたんだと。この一言でガラリと変わるんですね、あの人。そこがものすごく危ないところで。そうすると、この間まで話し合っても無駄だと言ってたのが、今回、俺が話してもいいよという感じにもなってる。このブレが本当に怖いと思いますね。かつ大事なのは、そこで今、日本はもちろん、ある程度、平和的解決のためには、それはいいんですけど、そうは言っても、相当追い詰めないとうまく解決しない。ところがガラリと変わってしまいますとどうなる

んだと。日本の本当の立場は本当に大丈夫ですかと、傍観者になっているような感じがしますね。
ーーーー

元外務事務次官の藪中氏は、文大統領がトランプ大統領をおだてて、米韓離反を回避したと分析。
そして、トランプ氏はおだてで態度豹変する危うい人だと指摘。
経済制裁は続けるべきなのに、アメリカの姿勢が変わることを懸念。
日本を心配する体の意見。

次は、傍観者といった体のコメント。

ーーーー
大崎麻子 : 私は文在寅大統領が平昌オリンピックの後に向けて、どういうビジョンというか戦略を本当のところ描いているのかなということにすごい関心があります。米韓合同軍事演習を規定路線でオリンピックの後に再開するのか、それとも、それこそ日米とは若干の距離を置いて中国とかロシアとも歩調を合わせて南北融和を図っていくということを模索するなんてことがあるのかどうか、そういったことが私は注目しています。
ーーーー

大崎氏のは、まるで「他人事」のような中立コメントですね。

ーーーー
青木理 : 米韓にくさびというのは確かに懸念されるし、油断ならないというのもおっしゃるとおりなんですけど、１つは、とりあえずオリンピックを無事にやらなければならないと。振り返ってみると、ソウル五輪のときには北朝鮮はテロまでやってるわけですよね。だからとりあえずこれで平昌五輪という世界的なイベントが、何とか少し懸念が減ったということで言うと価値があると思います。それから、金正恩体制になってから基本的にまだ外交って１つもしてないんですよ。ちょっと前に南北会談あったんですけど、中国とすら首脳会談をやっていないという意味で言うと、プーチン大統領が言うように成熟した指導者かどうかというのは別として、金正恩体制が、外に向かってどういう動きをし始めるのか、ようやく初めて、し始めたので、ある種の試金石になるんですね。だからここを突破口にして対話の局面に持っていけるのかどうなのか。それは日米韓も中国・ロシアもそうですけれども、これは非常に大切な局面なので、もちろん冷めて見つつ、どうやって育てられるかっていうあたりが、国際社会に問われるのかなっていう風に僕は思ってるんですけどね。
ーーーー

これまでサンモニが番組上げて主張し続けてきた「対話」重視の北朝鮮に優しいコメントです。
監視員の個人的感情では青木氏に異論ありますが、他のゲストが北朝鮮にキツイ意見を述べているので、青木氏の上記のコメントは報道番組の「多様な論」の一つなので、番組批判はできないものだと判断します。

「多様なコメント」これまでのサンモニではありえなかった光景です。

次の話題は、日韓の慰安婦合意についてです。

話題冒頭、関口氏がこの日一番驚くことを言いました。

－－－－
関口：北朝鮮という国は、いつものことですがよくわかりませんよね。今度のこの話題は韓国って何考えてんだろうっていう、そういう話です。
－－－－

本当にサンモニは一体どうしたのでしょう？
どこかの団体から「ヘイトスピーチだ！」と言われかねないような話題フリです。

VTR 内容です。
・韓国の市民団体デモ「慰安婦合意を直ちに破棄せよ！」
・韓国外相会見「再交渉の要求をしません。（でも）自発的かつ心からの謝罪を…」
・韓国、日本の金を受け取れない元慰安婦に配慮し、支援金 10 億円を韓国予算と置き換える方針を示す
・韓国国民の批判噴出
・文大統領「前政権が公式に合意してしまったことなので…」
・文大統領、合意は誤りだったと強調。しかし日韓関係も重要と述べる
・(慰安婦合意を振り返る)
・朴槿恵政権時、最終的かつ不可逆的な解決のはずだった
・合意再交渉を公約に掲げた文在寅氏が大統領に当選
・慰安婦像の設置や路線バス内の像で抗議続行
・韓国メディア、政争の具として利用しただけと、ムン政権の姿勢を批判

・菅官房長官「韓国側にも実行するよう強く求め続けていきたい」
・韓国政府、本来は公開されるはずのない合意文書を公開
　　(慰安婦関連団体が不満を表明しても同調せず説得する
　　(海外に少女像を設置する支援をしない
　　(性的奴隷という表現をしない
・韓国の保守系メディア「外交上越えてはいけない一線を越えた」と批判

VTR の説明を受けて、

－－－－
関口：これ、どう考えたって韓国政府にとってプラスにならないですよね。どうしてここまで、発表しなければいけないのか。

藪中：本当ですよね、全くやっていることが自己矛盾、矛盾に満ちてると思うんですね。大統領になる前はこれに反対だと言っていて。ただ、大統領になってしまうと、国際合意だと。そこに大きな矛盾を抱えていると思います。そういう意味で言ってることは全く矛盾だらけ、おかしいと思いますね。ただ、日本も実はあの合意というのは安倍総理、頑張っちゃったんですね。政府がお金を出すというのは本来難しいこと。できないと僕ら思ってたんですけど、そこを頑張ってやったから。

関口：10 億円ですか。それですら自分たちが出すと言い出して、これもおかしい。

藪中：だからおかしいことだらけなんですけどね、ここはクールに見ておけばいいと思うんですが。ただ問題は、おかしいのはおかしいけど他方において北朝鮮の問題なんてことになりますとね、この間の南北の会談の結果も日本には何も首脳レベルで言ってきてないんですね。この問題はおかしいと言いながら、同時に韓国との間で北朝鮮の問題についてはちゃんと話をする。と、そういう態度が必要だと思いますね。

関口：そうですね。秀征さん、これどうみても、矛盾だらけの話ですよね。

田中：うん、だからさっきも言ったように、大統領が糸の切れた風船みたいになってるんですよね。風向きによってあっち行ったり、こっち行ったり。ただ、先ほど韓国の新聞の紹介がありましたけど、この問題を政治の道具に使っていると。やっぱり韓国にもきちっとした良識みたいなのあるんですよね。そういう印象なんですよ。本当に気をつけてもらいたいのは、こちらは友好関係を深めたいという気持ちはあるんですから、そういうことをきちっと、

その筋でやってもらわなきゃ。一度合意したものを再交渉するんじゃなくて、また引っ込めたわけですからね。軸足が定まらないから、外交のしようがないという話になってくるかもしれないし。よほどこれ、しっかりしてもらわなきゃ困りますよね。日本だけじゃなくて、ほかの国も困りますよ。

幸田：一番の問題は韓国内の問題と、外交というか、国際的な問題が混同していることではないかと。文大統領の中でもごっちゃになっちゃってる気がするんですよね。そもそも、何かあるたびにこの問題を蒸し出す。もちろん慰安婦問題というのは歴史の負の遺産というか、人類としては大事に真摯に向き合う必要があるんだけれども。何かのたびにそれを外交カードみたいに持ち出すというのは、もうやめないといけないと思うし、日本としては毅然として、こういう合意に達したんだという姿勢を貫くしかないのかなという気がします。
ーーーー

「韓国おかしい」と主張するなんて、サンモニはどうしたんでしょう？
サンモニ出演者も慰安婦問題には辟易していた、ということでしょうか？

おそらく、日本人には幸田氏のように「慰安婦問題というのは歴史の負の遺産」と思っている人が多いと思いますが、そもそもこれは吉田清治の嘘が元で始まった冤罪です。
朝日新聞は誤報を認めています。英語版ではいまだに訂正記事を出していませんが。
先週分(1/7 放送分)の監視レポートでも書きましたが、サンモニは慰安婦問題を検証する必要があるでしょう。
日本が無理矢理に慰安婦にしたと思っている日本人がまだ大勢いるわけで、そのような人だけがこの番組に出演し、その誤認を前提にコメントする以上、他で両論示したとしてもやはり「偏向している番組」と言わざるをえません。

後の二人についても、「誤認」を前提にコメントしているのがわかります。

ーーーー
大崎：私はこの問題は、確かに二国間の問題ではあるんですけれども、でもその背景に、紛争下における性暴力とか強制売春について、今起こっている現代的な問題で、それに対する国際的な意識の高まりというのが非常に大きいということを理解しておくことが必要だと思うんです。例えばこの 10 年間で、紛争下の性暴力に対する安保理決議というのは幾つも出ていますし、それに対してどういう取り組みを行うかというのは日本も含めていろんな国が行動計画もつくっていて、さらには最近ではＧ７でもその紛争下の性暴力というのは議題の一つになっている。それぐらい重要性を帯びていて、つまり普遍的な情勢の人権問題だという潮流が出来上がっているんですね。それを、私は韓国もすごくよくわかってると思

うんです。なので日本の主張が国際社会で受け止められるかといった時に、日本は今、国内外で女性の人権とか暴力の問題にどういうふうに向き合っているのかということも非常に重要なポイント、評価のポイントになるんだと思います。
ーーーー
ーーーー
青木：そもそも振り返れば、かつての戦争中に日本が犯してしまった罪のうちの 1 つですから、これをなんとか、もう一歩、突き放すのではなくて、もう一歩踏み込んで韓国政府と一緒になってこの問題を完全に解決しようという努力をするという韓国側のおかしさっていうのはもちろんありつつも、日本側が一歩大人の外交をするというのも僕は必要なのかなという気はしてるんですけどね。10 億円を出すってところまでいった時に、例えば当時パク・クネ大統領と安倍首相が一緒に、慰安婦のおばあさんたちに何かメッセージを発するというところまでやっていたらどうだっただろうかとか、まだできること、あるいは感情的な面でできることというのがあると。韓国内でこれ、非常に敏感な問題になっちゃってるんですよね。だから、何とかできないだろうかということを、あきらめないで日本と韓国の外交当局、首脳間でやってほしいなと僕は思うんですよね。
ーーーー

大崎氏と青木氏、「日本が悪かった」という前提で話していますね。
前提に反論する出演者が必要だったと思います。

田中秀征氏は日韓合意時の 10 億円について、

ーーーー
田中：さっきの薮中さんがおっしゃった、安倍さんが踏み込んだって話ね。僕、村山内閣のときに官房長官をやったときに関わってるんです。どう考えてもお金の出しようがないんですよ。その筋で来たんだぞと。だからやっぱり踏み込み過ぎだということであれば、本当に安倍さんの踏み込み過ぎとも感じるわけですよ。これはもう、今こういう話したってしようがないんだけど、
そういうふうに思いますね。とにかくきちっとした軸足を定めて、向こうの大統領には対応してもらいたいと思いますよね。
ーーーー

村山政権時に中枢にいた人でさえも、政府からお金を渡すのは反対だったようです。
10 億円拠出は国際社会からも「認めているから拠出した」と思われるので、反対していた方も多いでしょう。

てっきり韓国に忖度し、合意破棄を促すコメントをするかと思いましたが、以外にも、全員が「韓国おかしい」と言っていました。それはそれでどうかという意見もあるかもしれませんが…。
しかし一応、韓国側の言い分は VTR で流れていましたので、合意の件では「両論併記」。
慰安婦問題そもそもについては「偏向」という結果でいかがでしょうか？

と、ここまではなるべく「両論」示した体に見せてきたサンモニですが、トランプ大統領のことになると…
VTR の内容です。

・ハフィントンポストの「トランプ大統領の核戦略見直し草案」批判記事
・「間抜け」呼ばわりに対抗し、トランプ大統領「私は天才」ツイート
・ロバート・デ・ニーロのトランプ批判スピーチ
・トランプ大統領が「便所のような国」と発言したと、民主党議員が告発
・トランプ大統領に世界中から非難の声（ただし、VTR では国連人権高等弁務官事務所報道官とナイジェリアの街頭インタビュー2 人、計 3 人だけ）
・ハイチで抗議デモ
・ロシア疑惑で捜査官がトランプ大統領への直接聴取を要求
・トランプ政権幹部の辞職率 34%、オバマ時 9%
・政権支持率 30%台で低迷。しかし、3 割半ばを下回ったことはない。固定層の支持は厚い

VTR 明けのゲストコメントは以下のとおりです。

－－－－
関口：しかし、何だか思いつきで次から次へ発言して問題を起こして、周りは大変だろうと思う。

藪中：本当に大変な状況だと思います。特に日本にとっての最大の同盟国だと、日米が一緒になってやっていくんだという相手がこんなふうですからね、今度の本も、大統領になることを誰も、本人も考えていなかった。準備もできてなかったということはありますけど、ですから、１つ１つやっていること彼が言うこと、ＶＳＧ、ベリー・ステーブル・ジーニアス。俺は、ということでね、最も安定した天才だと。自分が言ったらこれもう、ほとんど最悪の状況だと思いますし、今回の人種差別の発言ということになりますね。だからもう、世界は本当に困っているし。ただ、共和党、（トランプ氏には困っていると）まだ見せてない。こ

れは続くんですね。

関口：そこがわからんですね。

藪中：だから日本にとっては、よほどこの国とどういうふうに、この政権とどの程度の状況で向き合っていくのかというのは常に考えていかないといけないですね。

関口：なんだかアメリカの威信はどんどん落ちてるのに、アメリカ人がそれほど、まあ三十何パーセントの支持とはいえ、それほど心配してないのかなと思いますが…。

田中：本当に 30%ね、ずっと横に来てるから、そういう安定した支持があるんでしょうけど、いずれにせよ、1 年よくもったという感じですね、私なんかは。国務長官とか国防長官とか、副大統領、この人たちがきちっと支えているという、これ放り出しちゃったらどうなるんだろうと思う。とにかく私の願いは安倍さんに大統領と 100%同じだということを、あんまり簡単に言わないでもらいたいというふうに思いますよ、1 つ 1 つ起きるごとにね。政策的にもそうだけれども、100%同じと言わずに、「ほとんど」ぐらいにしておいてもらって。100%って言ったら救いがないですから。気をつけてもらいたいですね、こういうところは。

関口：「誰がアメリカを守ってるんだ？側近たちが守ってる。誰から守ってるんだ？トランプからだ」っていう笑い話があるっていうんでしょう？

青木：今のＶＴＲも、リアリティーショーを見ているようなものでね。ナイジェリアの市民がＶＴＲの中で「ああいう人だから意外じゃない」とおっしゃいましたけど、ホントそのとおりでね、ああ、やっぱりそうだったのかって感じなんですよ。『炎と怒り』という本もそうなんですけど。ただ、怖いのは日米関係もそうなんですけど、
アメリカはこれまでいろんな問題点はあったにしても、それでも一応、理想っていうかね、オバマさんなんか典型的だけど、民主主義と自由とを掲げて世界の覇権国として君臨したんだけれど。それがこうなってしまうと、ある種、世界のモラルっていうか、価値観というのがガラガラと音を立てて崩れていくような気がしてこれは本当に、アメリカ国民が選んだことだから仕方ないとはいえ、このままだと世界にいろんな悪影響をあちこちにばらまくなって、嫌になってしまいますね。
ーーーー

VTR は民主党寄りメディアの受け売りばかりで、スタジオではトランプ大統領を馬鹿にしたコメントばかりで、なぜアメリカ国民がトランプ氏を大統領に選んだのか、なぜ今もトラ

ンプ氏に期待しているのかということを言いません。視聴者に気づかれたくないのでしょう。
青木氏が言う「オバマさんなんか典型的だけど、民主主義と自由とを掲げて世界の覇権国として君臨した」の部分は、それこそトランプ大統領を支持している人の考えと真逆です。「オバマのせいで覇権国から凋落した」と考える人のことを伝えずに、反トランプ意見ばかりを報道するのは公平ではないと思います。

“経済小説家”の幸田真音氏は、トランプ政権支持率が 35%以下にならないのは好景気のおかげとし、一方日本経済について語りましたが、

－－－－
幸田：トランプさんはこんなに一貫性がないのに何でこんなに岩盤の３５％台ぐらいの支持率があるんだという話がありましたが、私これ、かなりアメリカの経済が強い、株価が１７年は本当に強かったし、今年もロケットスタートでしたからね、その辺の要素がすごく大きいと思ってます。日本の立ち位置というのも、経済の方から見ても、日本も企業頑張ってますし経済かなりいいんですけれども、でもこれって、やはり外需頼みなんですよね。外頼みなんですよね。例えばいっぱい借金膨らませて投資してた、このバランスが崩れたときは、あっという間だと思うので、そのミンスキー・ポイントを指摘する人もいるんですけど、だからこそこうやって時間稼ぎしている間に、外交が全部経済にも絡んでくるということがすごく大事になってきている時代なのでそれも含めて、国際関係、外交は経済とも一体だということをぜひ認識していただきたいと思いますね。
－－－－

小生、何を言ってるのか分からなかったもので、経済評論家である上念事務局長に幸田氏のコメントを見てもらいました。

上念「外需頼みというのは“ある意味”本当です。でもそれは、消費税増税で内需がいまいちなので相対的に外需比率が上がってるってだけです。
GDP 全体でみれば日本は『内需が 9 割弱』なので、緊縮やめて内需主導でいけば即座に問題解決。しかもバランスシートはピカピカですよ」

とのことでした。
「これって、専門的に勉強しないとわからないことですよねぇ」と聞いたら、「簿記三級くらいの知識があれば、読み取れますよ」との事務局長の回答。
小説ってフィクションですから、経済小説家は経済の知識なくても誰も咎められませんよ

ね。でも報道ではどうなのか…。

前回の出演まではサンモニらしからぬコメントをしてきた藪中氏ですが、ここにきて、先程のトランプ大統領の件のコメントもそうですが、一側面しか話さないサンモニパネラーらしくなってきました。

日本の接続水域に中国海軍が侵入した件で、

ーーーー
藪中：ただこれ、尖閣というのは完全に日本が実効支配していますからね、大事なのはその守りをしっかりと固めること。これ海上保安庁の人員を倍にしてもいいぐらい。そういうぐらいにあそこ大変ですから、遠いですしね。それを１つやる。もう１つは、実は１０年前になるんですけど、２００８年に東シナ海のガス田の共同開発というのが、平和攻勢をすればいいんです。向こうもようやく認めましたからね。だからそうすれば東シナ海を２つに割ると。平和的に、これをもっとやればいいと思います。
ーーーー

尖閣をしっかり守ろうと、いいこと言った後でさらっと「共同開発」を提案しています。しかし、過去に「共同開発しよう」という約束後も中国が再三こっそり掘削して約束を破ってきたことは伝えません。中国はガス採掘した後に軍事基地を建設するつもりかもしれないと以前から言われていましたが、そのことを藪中氏も他のゲストも言いませんでした。

「風をよむ」のコーナーは「日本の立ち位置」というテーマでしたが、ここでも「トランプ氏が気分で日本外しする可能性があるから、日本はアメリカと 100%ともにあると言うな」に終始していました。
「中国を牽制するために、トランプ氏が揺らいだ時でも日米同盟を盤石にする方法」については誰も言及しません。

番組前半の朝鮮半島関係ではまぁまぁ「両論」が伝えられていたと思いますが、後半はいつもの日米離反前提コメント…。

慰安婦合意については、世論調査で日本政府支持が 8 割超えていたからサンモニはまさに「風をよんだ」のではないか、と上念事務局長が言ってました（笑

サンモニで偏向報道が止む日はまだまだ先のようです…。

監視を続けます。

放送法遵守を求める視聴者の会